

総合教育会議・会議録 第2回

平成28年2月16日 16時  
2階第1会議室

1, 構成員

市長

教育委員会 5人

2, 議題

豊見城市内で発生したいじめ問題について

○ 市長

議事に入る前に、今日の会議は個人情報も含む事から、豊見城市総合会議に関する規程第6条（会議の公開）及び第7条（会議録）について、非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

全員賛成

○ 市長

本日急な呼びかけをしましたのは、豊崎小学校4年生に関するいじめ問題について、総合教育会議を開催した上で、市長としての意見を述べさせていただきたいと思い、急きょ呼びかけをいたしました。

なお、日程調整・政策会議の中で、教育長から説明は受けておりますので、特に私が懸念している事項について、確認をさせていただきたいと思います。

○ まず、2月2日に行われた第5回いじめ問題専門委員会で、委員が辞任したと聞いております。

その背景について、教育長の説明を求めます。

教育長

まず、一点目は、1月10日、私の記者会見の内容について、いじめ問題専門委員会・委員と十分な調整を尽くさぬまま、最終的な結論が出ていない審議途中の報告を行った事に対し、適切ではなかった事に対し謝罪を行っております。

次に、これまでのいじめ問題専門委員会の設置目的は、「いじめの全容解明と、再発防止策を策定すること」と説明して来ましたが、1月11日両親から死体検案書の説明があり、自殺との確認した事を受け、いじめ防止対策推進法第

28条に基づく、背景調査をする必要があると判断致しました。

これを受けて、「子供の自殺が起きたときの背景調査の指針」に移行する事を説明し、改めて委員の考えを伺ったところ、これまでの経過を踏まえ、全委員が辞任する事となりました。

市長

今後、教育委員会はどのように進めようとしているのか。説明を求めます。

事務局

一点目は、高度な専門性を兼ね備えた人選が必要であるとの判断から、弁護士会、医師会、社会福祉協会、沖縄国際大学、臨床心理士協会に委員の推薦を一任しております。そのことによって、市教育委員会が委員の選任について関与しない仕組みとなっております。

二点目は、第三者委員会の運営に関しては、全ての権限が第三者委員会にある事を確認し、両親及び代理人（弁護士）からいささかの疑念もいだかれたいよう取り組んで行きたいと考えております。

三点目は、両親からは事務局体制として、市教育委員会ではなく、他の部局にして欲しいとの要望がありましたが、学校で起こった事案でありますので、市教育委員会が最後まで、全容解明に取り組む事が責任を果たす事であると判断しております。

四点目は、新たな委員からの要望があれば、これまで作成した資料については全て提供したいと思います。

以上の基本的な考えを示し、全てを第三者委員会にゆだねることを伝えた上で、新たな第三者委員会をスタートさせたいと思います。

市長

私が、危惧しているのは、早めに詳細アンケート調査を実施し、必要に応じて聞き取り調査等、子ども達に関わる場所は、3月までに終わる必要があると思います。説明を求めます。

事務局

市長の心配のとおり、日程が厳しいと感じております。推薦を依頼しました関係団体から、日程が遅れる旨連絡があり、大変心配しております。

しかし、先ほども説明しましたが、教育委員会の姿勢は「全てを第三者委員

会にゆだねる事」でありますので、アンケート調査をするのか。しないのか。又、どんなアンケート調査をするのか。3月までに出来るのか等、心配はありますが、一切をまかせるという姿勢を貫きたいと思います。

任せた以上、第三者委員会をみまもることも必要だと思います。

市長

自殺に繋がる重篤ないじめが確認されていない中、マスコミ報道やインターネットの中では、犯人捜しが行われるなど、二次被害が出てもおかしくないと感じているが、その対応について教育委員会はどう考えているのか。

事務局

自殺に繋がるような重篤ないじめが確認されていない中、マスコミ報道によって、教育委員会、学校は信頼を失い、保護者会においても意見が二分するという事態となり、予定していたアンケート調査も実施出来ない状態となってしまいました。

さらに、今心配な事は過剰な報道により、犯人捜しが学校や教育委員会の知らないところで、行われていないか。危惧しております。

学校及び教育委員会が出来る事は、調査を再開し、事実の解明を進めることにありますので、委員の選任や日程調整を進め、早めに1回目の第三者委員会を開催できるよう取り組んで行きたいと思います。

市長

学校の状況が大変気になるが、学校の状況、対応はどうなっているのか。

事務局

1月13日、亡くなった原因が事故ではなく自殺であった事を全児童に説明した事を受け、スクールカウンセラーを配置し、その対応に当たっており、数名からの相談を受けております。

また、2月10日には、授業参観が実施されていますが、いつもと変わりなく終わったとの報告を受けております。

マスコミ報道があった直後に比べ、学校や保護者、児童については落ち着きを取り戻していることや子ども達が楽しく学校生活を送れるよう、校長、教頭、全ての教師が一丸となって、対応に当たっていると聞いております。

比嘉委員

弁護士会、医師会等公的な組織に推薦依頼を行っているが、沖縄国際大学に推薦依頼をお願いしたのは、何故ですか。

事務局

委員の選任に当たっては、沖縄県が昨年12月に常設の委員会を設置するに当たって、依頼した関係団体を参考に行っております。その中に、学識経験者の推薦を沖縄国際大学に依頼しておりましたので、お願いする事と致しました。特に、深い理由はありません。

なお、大学内での選任については、教授会を開いて決定するので時間の猶予を頂きたいとの連絡が入っております。

国吉委員

学識経験者として選任する場合、全ての大学に依頼をするわけには行かないという事ですね。

子供の自殺が起こった経緯や背景については、なかなかわからない事が多いと思います。解明が難しいのではないかと思います。どのように考えていますか。

事務局

「子供の自殺が起こったときの背景調査の指針」に基づく委員会には、調査権限が付与されますので、全容解明が行われるのではないかと期待しております。

真玉橋委員

それぞれの分野に精通した素晴らしい先生方に、引き受けてもらう事によって、教育委員としても安心していきます。

私の質問は、子ども達への影響は出ていないのか。二次被害も心配され、ちょっと叩いただけでも自分が悪いのかなと思う子供がいなか気になります。

カウンセラーの配置は、どうなっていますか。市長と同じ質問になりますが、もう一度説明をお願いします。

事務局

これまで週3日配置してきましたが、先週からは週1回の配置となり、学校はだいぶ落ち着いているとの報告を受けております。

市長

最後に

小学校4年生という幼い子供が亡くなった事は、誠に残念でなりません。また、遺族の気持ちに寄り添う事も必要ですので、対応については細心の注意

を払うべきだと思います。

その上で、いじめがあったのか。自殺に繋がる重篤ないじめがあったのか。幼い子供が自殺に至った背景について、徹底した調査を進めるよう強く要望します。

また、新たに選任した第三者委員会がスタートすることに関し、教育委員会の考えを確認する事が出来ました。

私も、第三者委員会の調査を見守り、全てをゆだねる姿勢で、最終報告が出るまで待ちたいと思います。

以上をもって、教育総合会議を終わります。

皆さんご苦労さまでした。



